

No.	2023年度												2024年度												2025年度				2026年度				2027年度											
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月												
3													再処理施設しゅん工（予定）▽												再）第1回届出（予定）▽				再）第2回届出（予定）▽				再）第3回届出（予定）▽				再）第4回届出（予定）▽							
4																									MOX燃料加工施設しゅん工（予定）▽				M）第1回届出（予定）▽				M）第2回届出（予定）▽				M）第3回届出（予定）▽				M）第4回届出（予定）▽			
5	▼面談												▽面談												▽面談																			
6	■再処理施設																								第1回 届出書作成																			
7	○重大事故時																																											
8	1. 設計情報に基づくAs is化等																																											
9	1-① 対称化モデル作成																																											
10	(1) 評価方針の検討																																											
11	(2) 起回事象の選定																																											
12	(3) 内的事象に起因する事故の起回事象の発生頻度の詳細な評価																																											
13	(4) 内的事象に起因する事故の事故シーケンスの分析																																											
14	(5) 内的事象に起因する事故の成功基準の設定																																											
15	(6) 内的事象に起因する事故のシステム信頼性解析																																											
16	1-② As is化モデル作成																																											
17	(1) 設計情報の収集、整理																																											
18	(2) 起回事象の選定																																											
19	(3) 内的事象に起因する事故の事故シーケンスの分析																																											
20	(4) 内的事象に起因する事故の成功基準の設定																																											
21	(5) 内的事象に起因する事故の人間信頼性解析																																											
22	(6) 内的事象に起因する事故の起回事象の発生頻度評価																																											
23	(7) 内的事象に起因する事故のシステム信頼性解析																																											
24	(8) 内的事象に起因する事故のパラメータの作成																																											
25	(9) 内的事象に起因する事故の事故シーケンスの定量化																																											
26	(10) 影響の詳細な評価																																											
27	(11) 重要度解析、不確かさ解析及び感度解析																																											
28	2. 複数グループ・複件事象の評価手法検討																																											
29	2-① 複数貯槽評価用ツールの適用性確認																																											
30	(1) 評価方針の検討																																											
31	(2) 冷却機能の喪失（2貯槽）																																											
32	(3) 冷却機能の喪失および水素掃気機能の喪失（各1貯槽）																																											
33	2-② 多数貯槽のモデル化方針の検討																																											
34	(1) 3貯槽グループ以上に係る事故発生頻度評価への拡張検討（合理的な方法の検討）																																											
35	2-③ 被ばく影響を考慮した重要度の評価方法の検討																																											
36	(1) 評価対象とする放出シーケンスの検討																																											
37	(2) 重要度の整理・算出方法の具体化																																											
38	3. 蒸発乾固・水素爆発(代表+代表以外)PRAモデル																																											
39	(1) 代表貯槽以外の情報整理方法と簡易評価方法の検討																																											
40	(2) (代表+代表以外)PRAモデル作成																																											
41	(3) (代表+代表以外)PRAモデルの定量化																																											
42	(4) 重要度解析、不確かさ解析及び感度解析																																											
43	4. 平常時/重大事故時の一般公衆への被ばく線量の整理																																											
44	○平常時																																											
45	(1) 評価方法、評価条件の確認等																																											
46	(2) 不確かさの評価項目の検討																																											
47	(3) 評価に必要なデータの収集																																											
48	(4) 評価の実施、結果の分析																																											
49	○重大事故時																																											
50	(1) 評価方法、評価条件の確認等																																											
51	(2) 不確かさの評価項目の検討																																											
52	(3) 評価に必要なデータの収集																																											
53	(4) 評価の実施、結果の分析																																											

No.	2023年度												2024年度												2025年度				2026年度				2027年度							
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月				
58													再処理施設しゅん工 (予定) ▽												再) 第1回届出 (予定) ▽				再) 第2回届出 (予定) ▽				再) 第3回届出 (予定) ▽				再) 第4回届出 (予定) ▽			
59													MOX燃料加工施設しゅん工 (予定) ▽												M) 第1回届出 (予定) ▽				M) 第2回届出 (予定) ▽				M) 第3回届出 (予定) ▽				M) 第4回届出 (予定) ▽			
60	▼面談												▽面談												第1回 届出書作成															
51	■MOX燃料加工施設																																							
52	○重大事故時																																							
53	1. 重大事故時に対する評価																																							
54	(1)重大事故等対処設備に関する設工認申請作業																																							
55	(2)FT図の整備 (大枠)																																							
56	(3)機器毎の故障モードの特定																																							
57	(4)FT図の整備 (細分化)																																							
58	(5)故障率データ整備																																							
59	(6)人的過誤パラメータ整備																																							
60	(7)非信頼度の算出																																							
61	2. 重大事故時の被ばく線量評価																																							
62	(1) 評価方法、評価条件の確認等																																							
63	(2) 不確かさの評価項目の検討																																							
64	(3) 評価に必要なデータの収集																																							
65	(4) 評価の実施、結果の分析																																							
66	○平常時																																							
67	1. 従事者被ばくの低減に向けた取組み計画に係る検討																																							
68	(1)データ収集																																							
69	(2)評価モデル作成																																							
70	(3)想定被ばく線量の評価																																							
71	(4)対策検討箇所の設定																																							
72	(5)対策検討																																							
73	(6)対策後の想定被ばく線量の評価																																							